

生命体工学研究科 ディプロマ・ポリシー

教育目標

九州工業大学は、建学精神である「技術に堪能なる士君子の養成」のもと、技術に精通し、あわせて豊かな人間性を持つ人材の養成を教育の目標とします。急速に変化する現代社会の中で持続可能な社会をめざし、産業と社会の課題を解決し、未来への発展を技術の力で導くことができる、人格的に優れ創造力を有した人材を育成します。

養成する人材像

九州工業大学では、多様な文化を受容する力、コミュニケーション力、自律的に学習する力、課題を発見し解決を探究する力、科学技術の社会貢献を可能にするデザイン力を持ち、高度な科学技術に関する知識・技能を身につけた人材を養成します。

上記の力を持つ人材を育成するため、大学が定める修業年限を満たし、以下に掲げる力を身に付け、所定の単位を修得したものに学位を授与します。

<博士前期課程>

1. 高度な専門知識と社会貢献について

生命体工学が対象とする広範な領域において、特定の専門分野を軸に据えつつ、その関連分野を理解して分野横断的な広い視野で思考し、データに基づき科学的に考察しながら独創的な研究開発活動を行うための高度な専門知識を修得している。また、生命体工学における専門分野及びその関連分野が社会で果たす役割を理解できる。

2. 高度な実践的課題解決について

生命体工学における専門分野及びその関連分野の課題を論理的に分析し解決する力を修得している。

3. 高度なプレゼンテーション力

生命体工学における専門分野及びその関連分野の新技术等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション力を修得している。また、論理的思考に基づいた的確なコミュニケーションを行う力を身に付け、その能力を国際的な場で活かすことができる。

4. 主体的な探求力

生命体工学における専門分野及びその関連分野の技術者として、個人と社会の多様な幸せを追求する価値観のもとで、社会と連携して社会的ニーズに応える態度を有している。

5. チームワーク力

生命体工学における専門分野及びその関連分野の課題に対して、解決に向けた計画の立案と作業の管理を自律的に行うとともに、多様な人々と協働して行うことができる。

<博士後期課程>

1. 最先端の専門知識と社会的な効果について

生命体工学が対象とする広範な領域において、特定の専門分野に関する最先端の知識を修得しているとともに、その関連分野にも精通して独創的な分野融合研究を推進し、イノベーションを創出するための高度かつ広範な知識を修得している。また、生命体工学における分野融合型の研究開発がもたらす社会的波及効果を理解できる。

2. 最先端の実践的課題解決について

生命体工学における最先端の分野融合型の研究開発を遂行するための専門的な技能を修得している。

3. 科学技術者としてのコミュニケーション力について

生命体工学における分野融合型の研究開発及びその成果発表を国際的な場で行えるプレゼンテーション力とコミュニケーション力を身に付けている。

4. 科学技術者の態度・志向性について

生命体工学における最先端の分野融合型の研究開発を担う者として、個人と社会の多様な幸せを追求する価値観のもとで、グローバルな視野を持って社会のニーズに応える態度を有している。また、研究・技術分野の動向を常に注視し、自ら課題を発見し自律して革新的な技術創出を図ることができる。さらに、技術開発の実現のために、他者に方向性を示し、協力を働きかけ、リーダーシップを発揮することができる。